

物流業界の常識に挑んだ経営技術の革新!

株式会社 八幡運輸 (米子市)

平成23年度受賞

経営革新大賞

技術革新賞

市場開拓賞

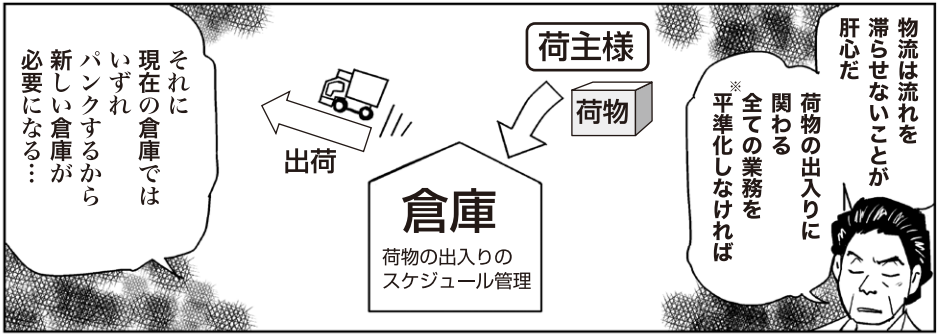
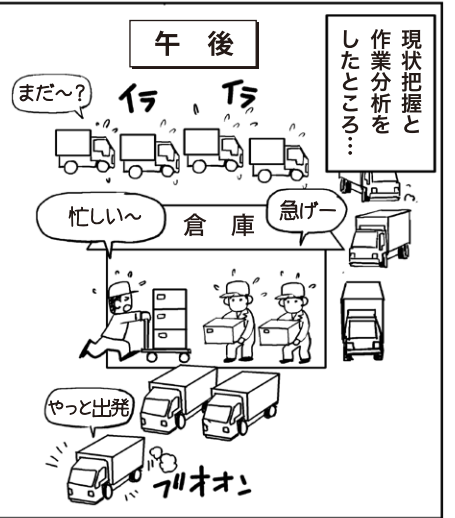
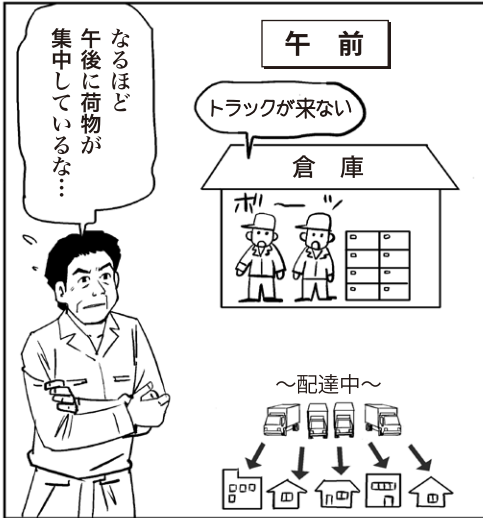
地域貢献賞

企画デザイン賞



株八幡運輸は一般貨物の
運送や工場から出荷された
荷物の物流管理などを
行っている会社である

経営革新計画策定の
きっかけは、取引先メーカーの
出荷量が増えたことだった



こうして平成18年6月
 ㈱八幡運輸は
 新しい物流システムの確立
 新倉庫の確保
 それに伴う人材育成を
 主軸とした
 経営革新計画を策定・
 申請した

午後の荷物を
 午前にも振り分け
 られればいいが…

早速 課題解決に向けた
 取り組みを始めた

㈱八幡運輸は物流業務の一部を
 複数の運送会社と共同して行っていた

この課題を解決するには
 自社だけでは無理だ
 取引先の運送会社にも
 協力を要請しなければ…

運輸

ハ幡がす
 っしやい
 ません！

午前中も
 荷物の搬出を？
 冗談ですよ？

いや
 本気です

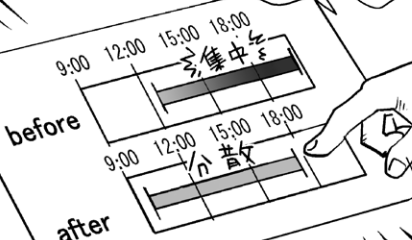
午前中は
 みんな配達中
 だから
 倉庫へは
 午後からで
 ないと
 行けませんよ

スケジュールを
 考え直してみたんです
 時間帯を分散させれば
 トラックの待ち時間も
 なくなつて 御社のメリットも
 大きいでしょう！
 残業もなくせますし…

うーむ
 とにかく社員とも
 相談してみます

今までの常識を変えることで
 より合理的になることは
 よくあるじゃないですか

これを
 見てください



業界内で常識化していることを変えようとするのは大変なことだったが地道な交渉の結果協力してくれる運送業者が少しずつ現れた



作業効率は改善しつつあるが倉庫の容量は圧倒的に不足している…

そして—
平成18年11月
待望の新倉庫が完成した



○○運輸さんのトラック入ります

小島課長
状況は
どうだ？



はい社長

スケジュール管理の効果もあり取引先は待ち時間なしに集荷できるようになりましたし

午後には集中していた社員の業務も平準化されています

ですが倉庫が大きくなった分繁忙期は人手不足となって残業が思ったほど減りません

うーん…確かに繁忙期と閑散期では荷物の量に5倍は差があるからな…



だが…だからといって単に人手を増やせばいいというものではない…

効率的な経営をするためにも社員全員が協力して作業を行える体制を作らないとな…

体制づくりは人材育成のためにも若い者に任せていこう…

小島課長
手の空いた者が自分の担当以外の仕事もできるように現場実習を進めてくれ

はい！



マニュアル作りやOJT[※]・人材育成を進めていったところ…

皆が仕事を理解していくほど業務がスムーズになっていきます！

以前は私だけが抱えていた業務を少しずつ他の人にもこなしてもらえようになりました

OJTの成果が出ているようだ

はい
繁忙期でも皆の協力で

パート・アルバイトの数を抑えられています



いいね！

ところで今度一課の渡辺課長と一緒に、入社希望者の面接やつてくれ

君たちに任せたぞ！

えっ！私ですか!?

じゃよろしくな

はい！



㈱八幡運輸は関わる人全てと共に効率的な物流を目指し今日も走り続けている

株式会社 八幡運輸



◆常識にとらわれない改革

業界の常識にとらわれず、取引先も含めた物流体制の見直しを実施することで、経営効率を向上させた。

◆人材育成重視の経営

若い世代に責任のある仕事を任せ、人材育成を実施することで、従業員の意識改革を行った。

[物流業界の常識に挑んだ経営技術の革新！：おしまい]